

嵯峨祭 菊鉾研究会

情報発信サポーター小西さんから、毎年5月第3、4日曜日に行われる愛宕神社と野宮神社の祭礼「嵯峨祭」の菊鉾研究会代表森浩一さんへの取材レポートが届きました。

■嵯峨祭の鉾とは
第4日曜日に行われる還幸祭で、神輿の巡行する道を清めるため先導するのが鉾です。鉾を上下左右にひねりながら鉾を鳴らします。嵯峨祭の鉾は、無形民俗文化財に登録されています。

■菊鉾練習会の様子
鉾は40kgほどあり、鉾を鳴らすまでに大体5〜6年はかかるほど技術が必要です。練習は還幸祭の前日まで約2週間、大覚寺前広場で行われます。メンバーは、菊鉾研究会の男性約20名（小学生から5歳くらいまで）です。

初心者は、本番と同じように作られた少し軽い鉾（約25kg）を使って練習します。本鉾の重さを体感するため、重石をつけて重さ調整ができません。

5〜6年前に、子ども用の練習鉾を作り、地域の小学生の練習参加も積極的に受け入れます。



練習会の様子
子どもは技の吸収が早く、3〜4年すれば、

鉾を一人で持って歩けるようになるなどのことです。現在、10名近くの子が練習に参加し、次世代の担い手になると大きく期待されています。

■本番の見どころ
懸命な練習の後に迎える本番。鉾差しが交代でひねりを加えながらチーン、チーンと美しい鉾の音を響かせます。次世代を担う子どもたちと住民同士のつながりを引き継ぐ嵯峨祭。皆さんも一度、出向かれてはいかがでしょうか。

3かけ運動「見かけ 気にかけて 声かけ」

「社会を明るくする運動」の大きな取り組みのひとつとして、「罪を犯さない、犯罪に巻き込まれない」安心・安全なまちづくりのため「3かけ運動」見かけ 気にかけて 声かけを進めています。区民の皆さんに親しんでいただけるシンボルマークをお待ちしています。

■用途 宣伝、活動ツールへの使用
用 キャンペーン用品、旗など
対 右京区在住、在学などご縁のある方

■応募方法 A4白無地用紙に「見かけ 気にかけて 声かけ」のキーワードを入れた、イラスト、書、手書き文字（写真やグッズの返却はしません）

■お問い合わせ先 社会を明るくする運動推進委員会
右京区推進委員会
事務局 右京区保護司会
☎871・0709（夢窓幼稚園）

門掃きや町内清掃などには専用のごみ袋などをお渡しします

公共的な場所（道路やごみの集積場所など）で清掃活動に取り組んでいただけたら、専用のごみ袋（ポランティア用ごみ袋）などを無料でお渡ししています。エコマチステーションまたは管轄のまち美化事務所へ申請が必要です。

■助成内容
・ポランティア用ごみ袋、軍手の給付
・火ばさみ、ほうき、ちりとり
の貸出し
・清掃活動で回収したごみの収集

■お問い合わせ先 右京区エコマチステーション
西部まち美化事務所
☎882・5787

しのびよる薬物の危険

「みんなの命と未来を守るために」
身体・生命に危害を及ぼす薬物乱用に立ち向かい、根絶に向けてみんなで真剣に考え、参画いただけます。

時 5月26日（木）19時〜20時30分
所 右京区役所5階大会議室1

■講師 福本嘉一氏（京都府警察本部長）
■主催 右京区「人づくり」ネットワーク実行委員会、右京区役所、市教育委員会、生涯学習部担当：松本敬三
☎251・0470

エコマチステーションが行く！

生ごみ減量の決め手は3キリ「使いキリ」「食べキリ」「水キリ」
無駄をなくしましょう。

ポイント
① 買いすぎない、買ったものは使いキリ
② お出かけ前の冷蔵庫チェックで食材の重複を防止。
③ 献立を考えて、使うものだけ買い物がこへ。
④ 野菜、果物を正しく保存、肉・魚の余りは「小分け」して冷凍。
⑤ 冷蔵庫を整理整頓、こまめに在庫チェック。省エネ、節約効果もあって◎。

詳しくは
京都市生ごみスッキリ 検索
☎366・0190



約60世帯3日分の燃やすごみに入っていた、手つかず食品の例



右京区まちづくりコンシェルジュが始まって1年半になるうとしていきます。相談をお聞きするなかで、まちづくりはまちのために必要なもの、みんなでつくる営みだと実感します。道路や施設だけでなく、居場所や取り組み・サービスも含めて、右京が理想のまちになるために必要な営みをお話しください！

コンシェルジュ活動日
・毎週金曜日13時〜17時
・サンサ右京1階
MACHIKO
☎861・1784

No.19 広がり！ステキ★活動

情報誌で地域とのつながりを
今回は地域の情報を発信する「りぷらす通信」を発行している永原章さんにお話を伺いました。

「りぷらす通信」発行のきっかけを教えてください。
中小企業家同友会（※）の地域と関わる活動の中で、普段の仕事が地域に必要とされているのか疑問に思ったからです。地域コミュニティが小さくなっていく中で、地域活性化のためにも積極的に地域の情報を発信しようと考えました。

紹介されている情報はどのように選んでいるのですか。
「りぷらす通信」は、西京極にある自社の半径1km圏内を中心に無料配布しています。

※中小企業経営者団体で、企業経営を通じて豊かな地域社会づくりの担い手として活動されており、「右京ふれあいフェスティバル」「右京まちづくり区民会議」にも関わっています。

歩き家、健康長寿、安心・安全、子育てをミックスした取り組みをしていきたいです。空き家を活用した、学生や地域の方々が集まって交流できる居場所づくりですね。

「まちづくりキャンパス@右京（まちキャン）」にも参加したいのですが、どんな場だと思いますか。
まちキャンの面白いところは、色々な人が参加していること。人の輪が広がります。

今後地域で取り組んでみたいことはありますか。
歩き家、健康長寿、安心・安全、子育てをミックスした取り組みをしていきたいです。空き家を活用した、学生や地域の方々が集まって交流できる居場所づくりですね。



りぷらす通信を手にする永原さん

区民が主役のまちづくり

27年度「右京区まちづくり支援制度」の採択事業団体が、取り組みの成果を発表する報告会と交流会を開催。

参加団体の皆さんに、1年間の取り組みを映像やパワーポイントを使って分かりやすく紹介していただきました。

他の団体の活動報告を聴いて、話し合い、交流を深めることで改めて自らの活動を見直すきっかけにもつながりました。

地域力推進室 企画担当
☎861・1784

